

とどろき おおのほら

轟.大野原地区コミュニティ

事務局だより 9月号

仲秋の候、すがすがしい秋晴れのうちに、いよいよ10月の足音が聞こえてまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。実りの季節を迎え、あちこちで刈り取りの景色を目にするようになりました。そのご苦労のおかげで、おいしいお米や野菜を頂けることに感謝です。五穀豊穣を見届けるようにして、神無月、神さまたちは出雲へ向かうのでしょうか。



大野原小中学校

九月十日（日）

地域で作り上げた運動会



↑
九月十日、大野原小中学校で開催された運動会には、約五十年前に卒業した区長さん方がお孫さんの応援の傍ら、当時の種目と変わらない仮装行列の話などを聞かせてくれました。先生方も中学生も芸達者で、笑いもすっかりとりつつ、応援やヨサコイソーンラン節では、飛入り参加の卒業生や親御さんと踊るなど、地区が一体となった姿を見せてくれ、感動の場面もたくさんありました。コミュニティのお手本のように感じ、大変勉強になった一日でした。



盆踊り

中身はPTAの方

です



援団

1年生がんばれ



かわかみ
丹生川区 川上丹生神社 鳥居の言い伝え

区長・辻田正信さん談

鹿島まで続く丹生神社の 一宮(いちのみや)にあたるこの川上丹生神社の鳥居には不思議な言い伝えがあるそうです。恐れ多くて写真は撮れませんでした。この赤い幟(のぼり)の足元の隅にひっそりと積まれたいくつもの石柱があります。苔むしたそれらの石こそ、本来、鳥居として構えているはずのもの。「・・・というのも実はね・・・」辻田さんの語り口に背筋がゾッとしました。「何度も何度も立てるんだけど、神様がお通りになる時期には必ず崩れているんです。牛車(ぎっしゃ)が当たって通れないから、邪魔だ、と倒されるんでしょう。以来、こうして倒したままになっているというわけ」ひゃあ～



ちょっと怖いですが、今もきれいに草払いがなされている境内に、区民の方々の信心深さを感じて、温かさを覚えました。この日は8月30日、神事を終えて夕暮れどきからは燈籠も灯され、ゲームやくじ引きが準備されたお祭りで賑わったそうです。

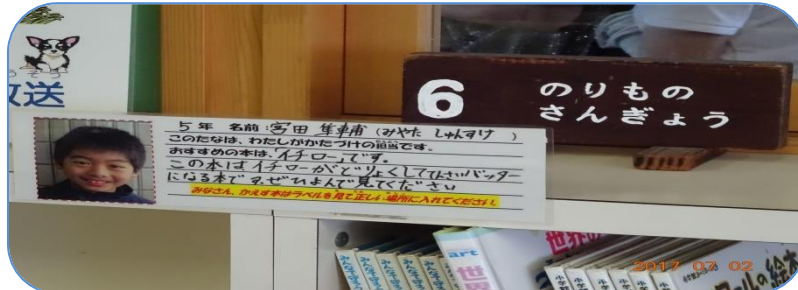


轟小・図書室の窓から



ご存知でしたか？轟小の図書室はとても環境が良く整理整頓されていて、何より本が大好きな田毎(たごと)先生の工夫が凄いのです。いかに子供達に自主的に棚を整理させるか？貸し出しを促すには？本への情熱があふれんばかり、いえ、あふれています。たくさん読書をしたキュートな彼女は雫さん。表彰され、誇らしい笑顔が素敵です。

TSU●●YA顔負けのレイアウトと、図書委員の子供達が受け持つ棚は必見です！先生にお声をかけて見学してみてください。次回も掲載します。



いろいろばた
囲炉裏端での昔話・二 「こんにやくおぼけ」
むかしここは、こんにやくおぼけが出たそうだからと言って穴を見たおぼけ、「イマニモデルゾ」と、冷たいこんにやくおぼけが首にペターと巻き付いたそう。その人はびっくり仰天、腰抜かし
た
そう。オオコフ。
寄稿・湯野田区 山口正文様

轟・大野原コミュニティ
TEL 43-3256
岩屋川内甲 369 番地
文責：谷山佳世